

# きたかみ未来創造会議

## 創造NEWS 第11号

2009.12.1  
第11回会議  
『目指すべき  
将来の姿』  
検討の巻

前回に引き続き、市民との協働による成果指標づくりに向け、具体的なまちの成果イメージを共有するため、「目指すべき将来の姿」の検討を行いました。

### ■第11回「きたかみ未来創造会議」の概要

前回から、北上市の強みや弱み、課題などこれまでの議論をふりかえりながら、市民と共有する「目指すべき将来の姿」について検討を始めました。今回は、それぞれ分野別で検討を行った後に、意見交換を実施し、「目指すべき将来の姿」について分野ごとに固めることを目標としました。

はじめに、市政策企画課より「市民と共有する成果指標について」情報提供がありました。今回の作業について前回のふりかえりも含め、成果指標の意味、成果指標を市民と行政が共有し、実践、点検、改善していくことの意義について確認しました。

その後、各分野での検討に入りました。今回はより、まちづくりの成果として「将来どのような状態・状況になっている」に観点が絞り込まれ、その中でこだわらべき内容（表現）について、熱心な意見交換がされました。

各分野の案が検討されたのち、それぞれ分野別に意見交換を行いました。各班で「訪問者」と「お留守番」に分かれ、訪問者が他の分野に訪れ、意見や質問を「お留守番」に伝えるものです。

ここでは、少数での会話の機会も多く、新たな視点から「気づき」のある意見交換ができたと思います。他分野からの客観的な意見が検討案の整理にもつながり、相互に検討内容を議論するよい機会となりました。

最後に、再度分野別で検討後、それぞれの「目指すべき将来の姿」を発表し、終了しました。

次回からは、「まちづくりの指標」の検討に入ります。今回のこだわりが次の検討で、大きく活かされるものと思います。2009年の締めくくり、今年最後の会議です。

皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

#### <次回案内>

- 日時：12月21日（月曜日）18：30～
- 場所：市民交流プラザ（ツインモール西館）  
（※会場が変更します。ご注意ください）

#### <忘年会開催>

会議終了後、20：30～忘年会を開催します。  
メンバー同士、こちらでも熱く交流しましょう！！



政策企画課からの情報提供



分野内での検討



分野を超えた意見交換



目指すべき将来の姿 報告

## <<分野別の検討結果>>

### 分野：保健福祉

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

A1 出産に対しての不安がやわらぎ、だれもが安心して産むことができる

A2 育児に対しての精神的、経済的不安が少なく、親と子供達が健康に暮らせる

A3 働きながら子育てしやすい保育環境が整い、だれもが安心して子供を育てられる

A4 育児相談が気楽にできる環境が整い、地域とともに責任をもって子どもを育てられる

A5 年をとっても、障がいがあっても必要に応じて支援や福祉サービスを受けられる

A6 高齢者が身体的、精神的に健康で安心した生活を送り続けることができる

A7 障がい者が自立した生活を実現できる環境がある

A8

A9 積極的な健康づくりと疾病予防によって市民が充実した暮らしを送ることができる

A10 かかり医制度の充実と医療機関の開かれた連携によって、情報提供システムができ適切な医療サービスを受けられる

A11 病院や地域でのリハビリテーションが充実している

A12 地域で、互いに支え合い知恵を出し合って、誰もが安心して暮らせる

A13 身体的・社会的・経済的などあらゆる不安や困難に陥ったときに安心して話せる

A14

## 分野：教育文化

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

B1 特色ある教育の実践と進学への支援により、優秀な人材が生まれている

B2 地域・家庭の連携により、子どもたちが**生き生きと生きる力を育む**学習環境が整っている

B3 **高等教育機関が創設されていることによって、より教育内容が豊かになっている**

B4 より多くの市民が**自ら質の高い生涯学習の機会を創出することによって、より豊かな生活を送っている**

B5

B6

B7 **産官学が提携することによって、先端技術を取得できる教育環境がある**

B8 誰もが健康や競技など、それぞれの目的にあったスポーツを、目的にあった指導により実践することができる

B9

B10 守り育ててきた民俗芸能や文化財の価値を市民が理解し、次世代につなげることができる

B11 市民誰もがさまざまな文化活動に触れる環境が整い、**地域の特性を生かした生活を送ることができる**

B12 さまざまな国際文化に触れる環境が整い、**多様な価値観を受容し、さまざまな文化と交流できる人材が育っている**

B13

## 分野：産業雇用

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- C1 農業・商業・工業が特徴を活かした連携によって、多様な発展を続け、魅力がある職場が生まれている
- C2
- C3
- C4 それぞれの商店が独自の発想と資源の組み合わせにより、魅力ある商店街をつくり出している
- C5 北上独自の産業構造が構築され、安定した産業・雇用形態が形成されている
- C6 様々な資源を活かした、通年型観光の仕組みが構築されている
- C7
- C8
- C9 市民が農業の大切さを理解し、地域全体で農業を支え、安心安全な食料が提供されている
- C10 農業所得が向上し、新たな就農者が生まれ、安定的な農業経営ができる環境がある
- C11
- C12 さまざまな先端技術の教育が受けられる環境が整っている
- C13 産業分野で活躍できる人材が育成され活躍することによって、地元産業が発展している
- C14

## 分野：生活環境

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- D1 北上の自然を市民が共通の財産としてとらえ、それを次世代につなげることができる
- D2 里山・農村などの保全・整備によって、自然と共生を維持することができる
- D3 自然破壊や人体に影響を与える公害を出さず住み良いまちとなっている
- D4 新エネルギーの導入などにより、CO<sub>2</sub>の削減に向けた仕組みが構築されている
- D5
- D6
- D7 市民、企業、行政それぞれで3R(リサイクル・リユース・リデュース)などごみ減量のシステムが構築され、循環型の社会が形成されている
- D8 不法投棄がなく、ごみ分別のマナーが守られ、きれいなまちになっている
- D9
- D10
- D11 地域・家庭・学校などさまざまな防犯体制の連携によって、犯罪のない市民誰もが安心して安全に住めるまちになっている
- D12 防災のための組織・連携構築と、災害に強い施設設備の充実によって市民の生活を守る
- D13 市民が高い防犯・防災意識を持って、市民自らが生活を守ることのできる環境がある
- D14 地域で災害発生ポイントが共有され、安全な避難経路や避難施設が平時から理解されている

## 分野：基盤整備

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

- E1 身体的・社会的などの背景が異なる**全ての市民が**不自由なく社会サービスを楽しむことができる
- E2 **ひとにやさしく心地よく歩けるまちになっている**
- E3 生活と産業を支える**安定した**上水道サービスが継続的に行われている
- E4 **下水機能の整備・利活用がされ、快適になっている**
- E5
- E6 交通拠点との効率的な道路の整備によって生活・産業を支える道路ネットワークが構築されている
- E7 効果的な除雪や道路補修により、安全な道路環境が構築されている
- E8 高度情報**網を使ったサービス**によって、市民が生活機能の維持・充実**している**
- E9
- E10 持続可能な公共交通と地域での補完的交通により、市民誰もが快適に生活できる
- E11
- E12 自然と都市の**調和**の取れた**計画的なまちづくり**によって持続可能な都市構造**になっている**
- E13 各地区と中心市街地**が連携し**、市民誰もが生活に必要なサービス**を受けることができる**
- E14

## 分野：推進体制

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

F1 市民・企業・行政・議会がそれぞれの自治における役割を理解しそれを果たすことができる

F2 全ての世代がまちづくりを自主的に関わっており、より満足感のある社会になっている

F3

F4 それぞれが特色を活かした地域づくり活動が実践され、誇りと愛着をもった人・地域が形成されている

F5 活発な地域活動に行われており、生活機能が維持されている

F6

F7 市民・企業・行政がそれぞれの立場を理解し、責任と役割のもとに、互いの長所を活かした協働ができる

F8 多くの協働があり、多様なサービスが受けられている

F9

F10

F11

F12 みんなで情報を共有し、一緒に話し合える場があり、市民が共感をもつ公的サービスが実現出来ている

F13 施策優先度と市民ニーズが反映され、公共サービスを継続的に提供できる財政基盤が構築されている

F14

F15 国・県・他市町村と効率的な役割分担の仕組みが構築されており、効果的な公共サービスが実現している

F16

## <ふりかえりカードから>

- グループの皆様がわきあいあいと話しあえる雰囲気になってきましたのでよかったと思います。いつもお助けいただきありがとうございます。
- 前回、前々回さぼった為なかなかついてゆけず苦労しました。ほぼ出来上がった文章に皆さんの思いがこもっていました。
- 前回、前々回と欠席し、久しぶりに出席しました。調子がつかめず今回は戦力にならないところもありましたが、次回頑張ります。
- 自分達の中では完成形だった場合訪問者からなぜその疑問が出てきたのか、その理由や意味を確認することが難しいと思った。逆に訪問して疑問を出す時に理由を言うと意見になるのではないかという不安があった。やっぱりW・Sはむずかしい。
- わかりやすく状態を目指す方向を明確にする文章づくりが大変であった。
- 前回、今回と文章力が問われ頭を使いました。これからより具体的になっていくようなので、もっとイメージできていくと思います。
- 用語に対するイメージ、理解が各自で統一されおらず、文章化に困難を感じた。時間が短く、議論不足ではあるが、最終的にはまとまったのではないかと思う。
- ひとつの言葉でも、人により様々な解釈があり勉強になりました。普通に使っている言葉ではなくわかりやすい「ことば」誤解のない「ことば」を学びました。
- 文章表現が難しく時間がかかってしまった。指摘もあいまいな表現が多く考えさせられた。
- 無い頭をしぼり大変であった。進行サポーターの力により終了することが出来た。次回も欠席しないで参加したい。
- 今日はまた元のグループに戻ってみんなで頭をひねっていいのがつくれたと思います。忘年会の日は別件が入っているのですが調整して未来創造も飲み会参加！したいです。
- 全段階で決定された文言を生かしつつ意見を集約した文章を作るのに苦労した。
- 前回良く話し合ったにもかかわらず今回読み直すと更に変更したくなる。せつかく完成したが、訪問者に言われると「なるほど」となりまた手を加える。文章って難しい。
- 第2ステージ3回目でようやくグループ内が共有できたように思う。
- 疲れしました。次回もがんばりたいと思います。
- 初めて取り組んだ項目で前はわからなかったが、今回は前より文の意味がわかり皆でどうにか最後まで話し合えた。
- こうして言葉を交わして作り上げるのは大事ですね。メールと違って話す言葉は言い直しができない。でも、今は言葉が大事にされていないかな。「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある。「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に人の優しさを感じる事がある。「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくる事がある。「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で幸せにあふれる事がある。「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に人の弱さを知ることがある。「さよなら」この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになる事がある、一秒に喜び、一秒に泣く、一生懸命、一秒、がんばりましょう！！
- 全員が意見を出し時間内になんとかまとまりました。財政的に非常に厳しい時節ではありますが、何とかやりくりして効果的に基盤整備していきたいものです。
- 訪問者隊と、お留守番隊に分かれて役割り分担しながら検討する方法は大変面白い企画だと思います。
- 前2回欠席していたので話し合いについていけるが不安であった。最後の方は時間が無く言葉を並べただけになってしまった。見直し（修正）したい気持ちもあるが・・・。
- 多様な意見を調整することが出来た。
- 文章の作り方のアドバイスを受けてから議論が進んだ。他班からの意見も非常に参考になった。自然と参加者が自主的に発言して言い議論が出来た。
- 全体の話し合いの方向性が体感でき話し合いに乗ることが出来てきた。